



リマーク

口腔インプラント技工における一工夫

小澤 謙太

長野県歯科技工士会所属
歯科技工士生涯研修 1 期修了
(有) 小澤デンタルラボラトリー



口腔インプラント技工を行う上で、ワックスアップは必須なものである。しかし、アクセスホールが邪魔をして時間がかかってしまうため、作業工程に一工夫を加えてみた。

まず、各メーカーの既製アバットメントまたはバーンアウト用のプラスチックコーピングを用意する。プラスチックコーピングは安価で入手しやすいと考える。また、プロビジョナルレストレーション製作時に切断したもので繋げてよい。

次に、そこへシリコーンを注入して棒を作成する。あらかじめ長さの違うシリコーン棒を作っておくと

咬合高径によって使い分けることが可能となる。シリコーン棒はアクセスホールと同じ太さであるため、差し込んだままワックスアップを完了させてもスクリューを外すことが容易にできる。また、シリコーン素材であるため、分離剤を塗らなくてもワックスアップすることができて抜差しも可能であり、プロビジョナルレストレーションなどのレジン築盛時にも簡単に外すことができる。

以上の工程により、筆者は作業時間の短縮に成功することができた。

fig.1

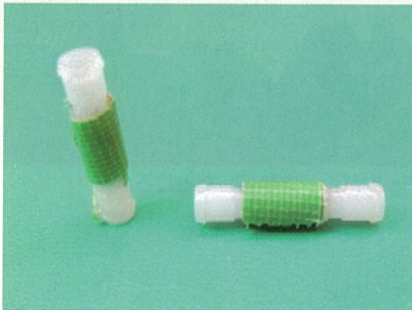


fig.1: プラスチックコーピングを繋げたところ。

fig.2

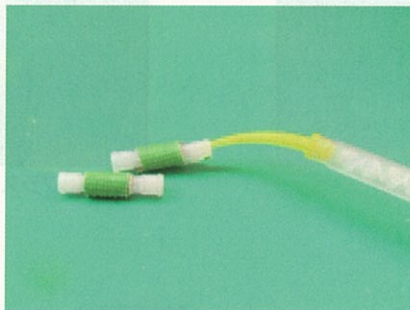


fig.2: シリコーンを注入する。

fig.3



fig.3: 長さの違うシリコーン棒が完成。

fig.4

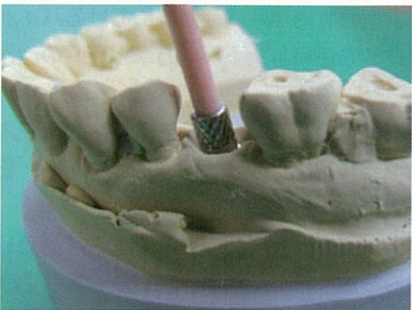


fig.4: 作業用模型上に戻したところ。

fig.5

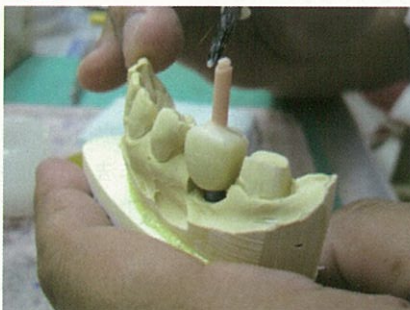


fig.5: レジン築盛時にも入れたまま盛ることができる。

fig.6



fig.6: ワックスアップ時にシリコーン棒を差し込む。

●問い合わせ先 (有) 小澤デンタルラボラトリー
小澤 謙太 (おざわ けんた)
TEL: 0263 - 54 - 0618